

ねえ、
してる？

文化レポーター厳選

シン・小田原推しスポット

絶景ポイント、金の金次郎、ゆっくりできる場所、話題の場所など、ガイドブックには載っていない？文レポ(文化レポーター)の推しスポットをお伝えします。

「友だちや観光客をここに連れて行くと喜ばれるよ」という情報をご存じの方、SNSに「#小田原推しスポ」のタグをつけてお寄せください。

今号の編集長
ひんどうよしみつ
備堂能満



こんなところからお城が！ ゆきぐま

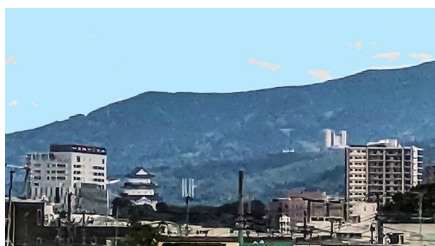
小田原に引っ越してきた頃、どこからもお城が見えるかもしれない、という新鮮な期待がありました。しかし、ひとたび街へ入ると高層の建物が次々と建ち、天守閣が望めるところは稀になってきました。それでも思わぬ隙間からお城が見えることがあります。街歩きをしながら、お城の見える近景、遠景、隙間景を探してみました。



続きはレポートで!!



小田原駅東口デッキから窓に反射して二つの天守閣が現れ、ここからの夜景も素晴らしい



国道255号飯泉橋を市内方面へ行くと左手、商業ビルと高層マンションの間に天守閣が遥かに見えてくる

発行月：令和6年（2024年）7月
発行者：小田原文化レポーター

いろいろ小田原とは？

小田原には古くからたくさんの文化が花開き、現在も活気ある活動が続いています。そんな小田原のアレコレを見つめたレポートをもっと多くの方に！という願いを込めて発刊しています。

「いろいろ小田原」
(カラー版)は右の
QRコードからご覧
いただけます。



@BUNREPO.ODAWARA

Instagramも
更新しています。

フォローお待ちしています！

金の金次郎

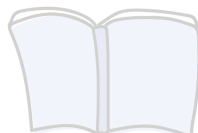
こうもくし
広目子



報徳二宮神社御社殿への参道の左側に「杜のひろば」があります。その緑の木立の右奥に金色の金次郎像があります。青銅色や石製の金次郎像は数多くありますが、黄金に輝き光る金次郎像はこの一体だけでしょう。東京駅前にあった八重洲ブックセンター本店の入口脇に立っていた像が移設されました。初代会長・河相全次郎氏の「金次郎こそ理想の読書人」と二宮尊徳を崇敬する心から建立されたそうです。



続きはレポートで!!



報徳二宮神社の金の金次郎像

かんかんそう

甘柑荘 -『虎に翼』の別荘-

こうもくし
広目子



今話題の、NHK連続テレビ小説『虎に翼』の主人公のモデルは、日本初の女性弁護士となった三淵嘉子です。嘉子とゆかりのある邸宅が、小田原の板橋にある「甘柑荘」です。嘉子の義父・三淵忠彦が建てました。旧東海道の旧道の奥にある甘柑荘は、「この家は簡単ではあるが清楚である」と評されています。数寄屋風の床の間も玄関もなく装飾のない家を三淵嘉子も気に入って何度も足を運んだそうです。



続きはレポートで!!



三淵邸・甘柑荘

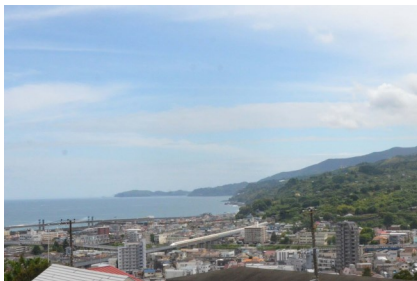
三の丸外郭からの絶景

こうもくし
広目子

小田原駅西口から相洋高校に沿って坂道を上っていくと、坂の頂上の左側に「三の丸外郭 新堀土塁」と呼ばれる小田原城史跡があります。北条氏が小田原城総構の一翼として構築した土塁です。土塁の上に登って南側を見下ろすと、そこには驚くほどの絶景が広がっています。新幹線の全車両が一本の白い線になって、走り抜けていきます。ここは、旧閑院宮別邸やMRAアジアセンターがあった場所です。



続きはレポートで!!



三の丸外郭 新堀土塁からの絶景

“おだわら魚食”進化系

じんちゃん

いろいろ小田原では、これまで「海」「梅」を取り上げてきましたが、「魚」も外せません。生魚はもちろん、かまぼこなどの練り製品、干物や塩辛などの加工品を扱うお店が各自の特徴を出してしのぎを削っています。今回訪問したお店のメニューには、かまぼこ、伊達巻等が使われており、テリーヌ、カルボナーラなど気軽に魚食を楽しめます。かまぼこのイメージが変わりますよ。



続きはレポートで!!



かまぼこのカルボナーラと伊達巻でつくったチーズケーキ

ニャンと鳴くか猫の鈴

びんどうよしみつ
備堂能満

ニャンと鳴きはせぬがリンリンとしっかり響きます。寝坊助の耳元で鳴らせば殊のほか目もよく覚めますぞ。風鈴で名高い柏木美術鋳物研究所の小田原工芸鋳物の逸品。その工房の中におりました。いっぱいいたその中の一つ。よく鳴く一匹。以来、我が家に鎮座して。いやいやぶら下がり、守ってくれております。昭和30年代から作られる、今や還暦越えの朋輩です。幸せをその手に魔よけの猫の鈴。柏木さんの工房のお店や三の丸の観光交流センターで買えますよ。

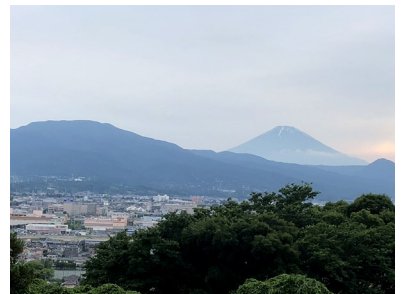


まよけ猫鈴

小田原 絶景かな

おしきり
押切のリユウ

JR国府津駅の裏手に菅原神社があります。線路に沿うように農免道路の坂を急登。快晴であれば伊豆大島、伊豆半島、箱根連山、富士山が指呼の距離に見え、眼下に小田原市街が一望できます。登りきると丹沢山塊。春は桜のトンネル、そして白いミカンの花。晩秋にはオレンジ色に染まったミカン。夕暮れのシルエットの箱根と富士山の素晴らしさ、眼下の小田原市街地の灯りも美しく、熱海や香港にも負けません。本当は誰にも教えたくない景色です。



菅原神社からの絶景

小田原文学館のお庭でランチ

びんどうよしみつ
備堂能満

屋外で食べるランチも一興。昭和の初めに建てられたスパニッシュ様式の洋館は、その白い美しい姿を見せます。庭のテーブルには、来る道で買ったエスニックな味の「さばバーガー」、丁寧にドリップされた老舗スタンドの珈琲。展示が替われば訪れて、時間があればゆったり過ごす。文豪たちが小田原を往来した頃、この洋館は誕生しました。今日の珈琲も彼らがきっと好きだったビターな感じ。お勧めしたい、こんなランチを文学館で。どうですか。



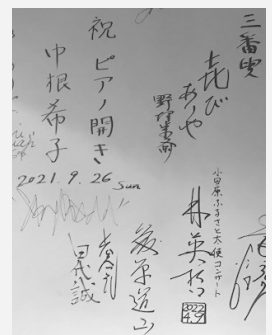
小田原文学館の庭

-レポーターが注目するホール情報をシェア-

小田原三の丸ホールから、こんにちは!

注目ポイント⑤: 楽屋サインブース

大小ホールの利用者が使用する楽屋。そこにひっそりと、神々しく輝くこれまでの三の丸ホール自主事業出演者たちの多くのサイン! 見ることが出来る機会は限られてしまいますが、ぜひ一度は間近で見ていただきたいものです。



小田原三の丸ホール: 小田原市本町1-7-50

開館時間: 9~21時

休館日: 第1・3月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日)

年末年始(12月29日~1月3日)



イベントカレンダー

【編集:文化レポーターメンバー】押切のリユウ、広目子、じんちゃん、備堂能満、ゆきぐま、RIE

【発行・お問い合わせ】小田原市文化政策課 tel / 0465-33-1707 mail / cultural-policy@city.odawara.kanagawa.jp